

山武っ子通信



山武市青少年育成市民会議



山武市青少年育成市民会議とは？

山武市の青少年が健やかに成長できるよう、青少年育成に関わる13の市民団体、小・中学校及び高等学校のPTAの方々、活動に賛同してくれる個人が連携・協力して青少年育成活動を推進している組織です。

今年度は、子どもたちの現状を知る機会として、現在どのように教育を受けているのか、教育委員会子ども教育課の方にお話しを伺った“定例会”と、東日本大震災で被害を受けた海岸保安林の復興を目的に行ってきた植樹の“手入れ作業”を行いました。

今回は、その2つの活動を紹介します。

子ども教育課長・指導室長にお聞きしました！

山武市の学校教育推進事業について

【令和3年10月19日(火) 開催】

例年、青少年育成に関する定例会をメンバー全体で行っており、今回は山武市教育委員会子ども教育課長、子ども教育課指導室長をお招きして、今の子ども達が学校でどのように教育を受けているのかをお話しいただきました。

今年度より学校教育課から子ども教育課となりました。学校関係だけでなく学童、相談関係、社会教育、家庭教育と業務も多岐にわたり、子どもの未来を守るため、保障していくために切れ目のない支援を包括的にしていく課としてスタートした事や、一人一台タブレット端末の導入やICT(情報通信技術)機器を活用した授業など情報化教育に力を入れている事、英語教育に力を入れている事など、子どもたちがどのような環境で教育を受けているのか知る機会となりました。



植樹後のお手入れ

山武市青少年育成市民会議が主催した「震災復興植樹祭 INさんむ」にて参加者のみなさんに植えていただいた苗木(クロマツ)の手入れを行いました。



▲手入れ作業概要▲

日時：令和3年10月2日(土)

場所：蓮沼中下海岸の防災林(平成30年度・令和元年度の植樹場所)

▲作業風景▲

「下草刈り」

苗木が雑草に負けて日光を十分に浴びることができなかつたり、水分を奪われるのを防ぐためにを行います。

雑草が伸び苗木よりも背が高くなっていましたが、きれいさっぱり日当たりが良くなりました。



苗木を刈らないように気をつけて作業をします



ハンマーナイフも出動



きれいになりました！



お手入れお疲れさまでした

「静砂垣の修復」

植えた苗木を風や砂から守るために作られた垣根、昨年度も修復しましたが、その後の強風により再度倒れてしまいました。

今回は木板で挟み込むなど、前回よりも強固に補強を行いました。



木板で挟み込み



支えの杭を打ち込んで



完成しました！